

生駒北小中一貫教育のイメージ

懇話会資料

H25. 6. 20

茶釜などの伝統産業に代表される歴史と先端科学に見られる未来が融合する高山地区にある生駒北小学校・生駒北中学校。小中学校9年間を一貫した教育方針の下で、「伝統」と「先進」をテーマに、地域に学び、確かな学力と豊かな人間性を身に付けた未来を生きる人材の育成を目指します。

市の教育課題（学力学習状況調査等から）

学力、学習意欲の向上 規範意識の醸成
自己表現力の向上 運動能力の向上

生駒北小中学校の状況と課題

児童生徒数の減少 教育情報の発信
人間関係の固定化 校舎の老朽化

保護者や地域の願い

地域の活性化 学校の存続・活性化
国際社会を生きる力の育成 人口の増加

地域の「伝統」と「先進」に基づく魅力ある学校 ～施設一体型小中一貫教育の創造～

特色ある教育課程の編成

小学校6年間、中学校3年間を教育課程の大きなまとまりとして円滑に接続し、子どもの発達段階に応じた指導、少人数を生かした指導、地域コミュニティと連携した特色ある教育活動を行う。

言語、知識、情報、 技術を活用する力

学力補充の取組

—ICT や放課後等を活用した学習の推進

奈良教育大学との連携により学生ボランティアが授業に入り込み個々にアドバイスしたり、放課後や長期休業中等を活用して学力補充に取り組んだりする。
電子黒板、1人1台のタブレットなど学力向上のためにICTを有効活用する。

9年間の地域学習—地域の伝統文化に学ぶ

9年間の系統的な学習計画により、茶釜づくりなど高山地区の伝統文化にふれ、地域を知り、地域に学ぶことにより、地域を大切にする人材を育成する。



体力・運動能力の向上 —一貫した「体力向上推進プラン」

小中一貫した「体力向上推進プラン」に基づき、9年間を見通し系統的な指導計画を作成し、中学校保健体育の教員と小学校教員が連携して指導するなど体力向上を図る。
高学年から部活動に参加できる体制をつくる。

理数教育の推進 —先端科学にふれる機会の充実

奈良先端科学技術大学院大学との連携の下、理科の楽しさを知り、身近な自然や先端科学に関心をもたせる学習を推進する。



自らの人生に意味や目的を与え、 社会の発展に参加する力

情報活用能力の向上

情報機器の操作ばかりでなく、物事を批判的に考える力、確かな情報に基づいた責任ある行動など情報社会を生きる力を育てる。

国際理解教育，英語教育の充実 —3年生から系統的な英語学習を実施

外国語指導助手（ALT）やわくわくイングリッシュサポーターの活用、中学校英語教員と連携し、英語に慣れ親しむことから中学校英語教育への円滑な接続を図る。
また先端大留学生との交流も推進する。

キャリア教育の推進 —地域の産業に学ぶ

ゲストティーチャーや職場体験の受け入れ事業者の拡大に地域と連携して取り組み、学習の充実を図る。

人間関係の広がり

—小中合同行事等による児童生徒の交流

体育大会や入学式等の行事、部活動を小中合同で実施し、コミュニケーションの場を広げ、豊かな人間関係を構築する。

多様な集団の中で、 人間関係を構築する力

一体型による充実した施設・設備 —学校と地域との交流の拠点

小中学生の交流、地域の方との交流のための多目的室やホール等を設置する。休日にも地域の方が使用できる会議室など、学校と地域の交流の拠点となる場を設定する。

地域コミュニティとの 連携の充実

学校・地域・保護者の三位一体となった取組の推進を図る。
学校の組織に地域との窓口となる部を設置し、連携を強化する。

小中教員協働による指導力の向上

9年間を通したカリキュラムにより小中教員が協働して取り組む指導体制を確立する。
中・高学年から、一部の教科で中学校教員による専門的な指導を行い、学力・学習意欲の向上を図る。（算数、理科、音楽、図画工作、外国語活動、体育等）
小中教員が協力しあい生徒指導を充実させる。